



クビナガリュウ
ホッピー

ホッピーだより

第287号

平成20年10月1日 (2008/10/1)

むかわ町立穂別博物館 054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別80-6 0145-45-3141
http://www10.plala.or.jp/mukawa/soshiki/hakubutsukan/

むかわの化石 (その5)

化石の調べ方 (例：穂別産カニ化石)

先日、穂別の河原で見つけたカニ化石をどのように調べたか、紹介します。

※今回は学名 (*Archaeopus*とか) がたくさん出てきますが、記号だと思って読んで下さい。

1. 何の仲間だろう？ 白亜紀の岩石から見つけた、角張ってゴツゴツとした、小さな茶色の化石 → カニの甲らに違いない！ (貝やウニではない！ もちろん、骨ではない！)
2. 博物館で調べよう！ 展示室の、エビやカニの化石と比べる → どれとも似ていない！
3. 図鑑で調べよう！ 「日本化石図譜」(朝倉書店、1989)を開く → そっくりな化石の
写真が！ 「*Plagiolophus ezoensis* Nagao, 1941 (穂別・サヌシベ沢、函淵層群)」
ブラジオリファス・エゾエンシス
- 採集地は、なんと穂別だった。地層も同じ(約7,000万年前)。場所は少し違うけれど...
4. 別な本で確かめよう！ 念のため、「Treatise」(世界中の化石が種類ごとに整理されている辞典。アメリカ・カンサス大学発行)で調べると... *Plagiolophus* はグリフィティレウス *Glyphithyreus* に変更されたことが分かった。 → しかし、*Glyphithyreus* には似ていない！
5. インターネットで調べよう！ 「*Plagiolophus ezoensis*」をネット検索。見つけた論文の中から、*Archaeopus ezoensis*と変更されたことがわかった (Collins, Kanie and Karasawa, 1993)。
アーケオプス・エゾエンシス
写真もそっくり。 → やっと、名前(学名)がわかった！
6. 専門家に聞こう！ 論文の著者の一人である蟹江(Kanie)さん(元・横須賀市博物館)に写真を送ると、柄沢(Karasawa)さん(瑞浪市化石博物館)から、「*Archaeopus ezoensis* に間違いありません」と返事を頂きました。 → 専門家の確認をもらった！
7. 何の仲間？ 5で見つけた論文では、Family Retroplumidae (ユウレイガニ科) となっていた。柄沢さんからの返事では、「和名はつけなかったので、『ユウレイガニの仲間』とでもして下さい」とありました。 → ユウレイガニの仲間！

8. 7,000万年前のユウレイガニ！ 現在のユウレイガニ
レトロプラマ・デンティクラータ
(*Retropluma denticulata*) は、腹の下側の足(第4対)が細く短く、泳ぐときにバランスをとります。四国〜九州の太平洋〜日本海の水深86〜110mの砂や泥の海底にすんでいます。今回見つかったユウレイガニは、7,000万年前の穂別(陸が近い砂の海底)にすんでいました。(学芸員 桜井)



穂別平丘 (幅1.5cm・高さ1.4cm)

【博物館の行事紹介】

ホッピー化石教室 (第3回) 「化石クリーニング・レプリカ作り」

平成20年10月11日 (土) 9:30-11:30 婦人研修センター (むかわ町福住) 定員30人
申し込み・問合せは、博物館まで 参加費無料 (穂別地区からは送迎があります)

秋の特別展「穂別D遺跡 -一万年前の人々のくらし-」

平成20年11月1日 (土) -12月7日 (土) 博物館特別展示室

昨年度に穂別市街地で発掘された、穂別D遺跡の調査結果を紹介します。

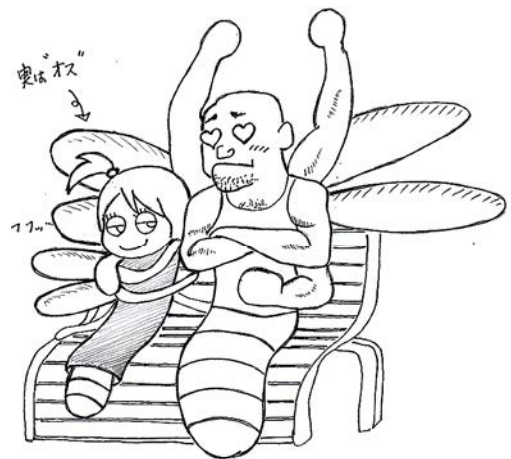
人間もビックリ?! 虫たちの恋のかけひき♥

すっかり秋ですね。虫たちの季節も終わろうとしています。その中で「ガガンボ」という虫を知っていますか? “蚊の母”の意味どおり蚊を巨大化したような姿で、足が長くてモゲやすく、でも刺さないあの虫です。しかし今回の主役はそのガガンボにソックリで、北海道には生息しない「ガガンボモドキ」。このガガンボモドキの生態が誠に興味深いのです。

恋の季節になると、オスはメスへ求愛プレゼントに蚊やハエなどを差し出します。その獲物が小さいと、メスはあまり相手にせず飛び去ってしまいます。しかし、気に入った獲物だとそのオスを恋の相手と認め、長時間を共に過ごす。実はメスたちは獲物の大きさによって相手を選び、一緒にいる時間を変えているのです。

そしてこの一緒にいる時間がとても重要で、短時間だとオスにとっては自分の子孫を残す確率が、非常に低くなってしまいます。

それでは大きな獲物を捕まえないひ弱なオスは、生涯メスから相手にされず、自分の子孫をたくさん残す事が出来ないのでしょうか? ところが(ここからがスゴい!) オスが獲物を捕まえる行為は、その獲物から反撃されるリスクを負います。そこでひ弱なオスは考えた(?)。力のあるオスが捕まえた獲物を貰っ



ちゃえばいいんだ☆ なんとひ弱なそのオスは、大きな獲物を捕まえたオスを見つけて近づくと、メス顔負けの媚びを売るんですと! 大きな獲物を持った力強いオスはまんまとだまされ、ひ弱なオスをメスだと勘違いして獲物を差し出す。しかしメスではない。気づいた時、既に遅し。ひ弱なオスは労せずして獲物を手に入れ、魅力的な彼女にプレゼントし、カップル誕生となるのです。

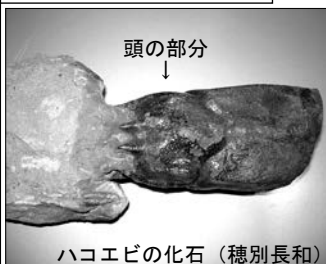
しかし、こんなにうまく行かない事も多々あり、相手のオスにバレると散々に傷み付けられ、ボロボロに逃げ帰る事もあるそう。また、やっと手に入れた獲物をメスに差し出すとちやっかり獲物だけとられる事もあるんですって。なかなかリアルな話じゃありませんか。

どうです。たかが虫、されど虫。私たちと同じ仲間なんだなあーってなんだか愛おしく思いませんか? 今年も虫たちの間でどんなドラマが展開されたのでしょうかね。(普及員 打本)

※ 化石体験コーナー (秋の特別企画) 10/25 (土) ~ 11/16 (日) ※
土曜日: 化石クリーニング体験・日曜日: レプリカづくり (11/3はレプリカづくり)

むかわの化石や生き物

ハコエビ (化石)



現在のエビ類は約3000種類あり、カニやヤドカリと同じ甲殻類に含まれます。現在のハコエビは千葉県・島根県〜九州の太平洋・日本海の沿岸の水深70~120mの砂泥の海底にすみ、食用にされます。化石は、8,000万年前の穂別(陸から遠い泥の海底)にすんでいました。

2008年10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	11	

10月のこよみ

- ・10/6, 20, 27は、通常の休館日(月曜日)です
- ・10/14, 15は、祝日の振替休館日です

■: 休館日

現在のユウレイガニは、四国〜九州の海にすんでいます。現在のハコエビは、千葉県・島根県〜九州の沿岸にすんでいます。7,000万年前や8,000万年前には、海だった穂別にすんでいました。今よりもずっと暖かかったのでしょうかね。(さ)